

ねつ たか からだ つめ 熱が高い・身体が冷たい

たいおん いじょう い か じょうたい
体温が 38℃以上または 35℃以下の状態

かんさつ 観察のポイント

- ねつ たか びょうき じゅうしょうど そうかん
・ 熱の高さと病気の重症度は関連しないこともあります
- ぐったりして元気がない、^{げんき} 顔色が悪い^{かおいろ}などの時は、^{わる} 全身状態^{とき} ^{ぜんしんじょうたい} を観察^{かんさつ}しましょう (⇒ p.9 参照)
- はつねつ のう あた
・ 発熱^{はつねつ}だけで、脳^{のう}にダメージ^{あた}を与えるわけではありません
- い か ていたいおん きんきゅうせい たか
・ 35℃以下は低体温^{い か}で、むしろ緊急性^{きんきゅうせい}が高い^{たか}ことがあります

ただちに、きゅうきゅうしゃ ようせい ただちに、救急車を要請

- いしき
✓ 意識^{いしき}がなく、けいれんしているとき
- ねつ たか きゅうきゅうはんそう はんだん ひつよう
熱の高さのみで救急搬送^{きゅうきゅうはんそう}を判断^{はんだん}する必要^{ひつよう}はありません

じゅしん じかん いな い すぐに受診 (3時間以内)

- すいぶん と はんにち で
✓ 水分^{すいぶん}が摂れず、半日^とおしっこが出ない^{はんにち}
- おうと げり く かえ
✓ 嘔吐^{おうと}や下痢^{げり}を繰り返^く返^{かえ}している
- ぐったりしている、ぼーっとしていて^{はんのう} 反応^{わる}が悪い
- きげん わる わら
✓ 機嫌^{きげん}が悪くあやしても笑^{わら}わない
- せい ご げつみ まん
✓ 生後^{せいご}3か月未満^{げつみまん}である



きょうじゅう じゅしん じかん ない
今日中に受診（6時間以内）

- ✓ よく眠る^{ねむ}
- ✓ 41℃以上の発熱^{いはつねつ}が続^{つづ}いている

よくじつ じゅしん じかん ない
翌日に受診（12～24時間以内）

- ✓ 水分^{すいぶん}（ミルクや母乳^{ぼにゅう}）が摂^とれて、おしっこも出^でている
- ✓ 機嫌^{きげん}が悪^{わる}くなく、あやすと笑^{わら}ったり遊^{あそ}んだりできる



せんもんい せんもん医からのワンポイント・アドバイス

か 家庭^{てい}でのケアのポイント

- ・ 体温^{たいおん}はあくまでも目安^{めやす}であり、体温計^{たいおんけい}の数字^{すうじ}のみにこだわらないようにしてください
- ・ 3か月未満^{げつみまん}の発熱^{はつねつ}は、早め^{はや}に受診^{じゅしん}しましょう
- ・ 高熱^{こうねつ}であっても元気^{げんき}な時は解熱剤^{ときげねつざい}を使用^ししないでいいです
- ・ 発熱^{はつねつ}時は体温^{たいおん}を1日2～3回^{いちにかい}ほど測定^{そくてい}しましょう
- ・ しっかりと水分^{すいぶん}を摂^とるようにしましょう
- ・ 発熱^{はつねつ}時は、環境^{かんきやう}（衣服^{いふく}・室温^{しつおん}）で温度調整^{おんどちやうせい}をしましょう

い 医師^しに伝^{つた}えてほしいこと

- ・ 園^{えん}や学校^{がっこう}などでの感染症^{かんせんしやう}の流行^{りやう}状況^{じやうきやう}
- ・ 経口摂取^{けいこうせつしゅ}の状況^{じやうきやう}（普段^{ふだん}どおり食^たべたり飲^のんだりできるか）
- ・ 体温^{たいおん}の推移^{すい}（記録^{きろく}しておく^{つた}えやすいです）